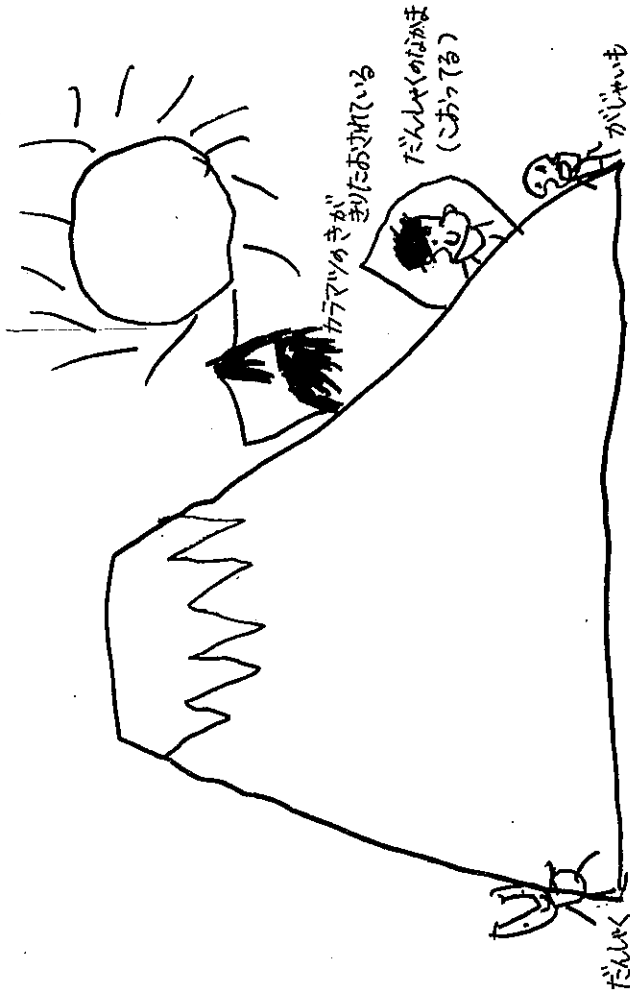
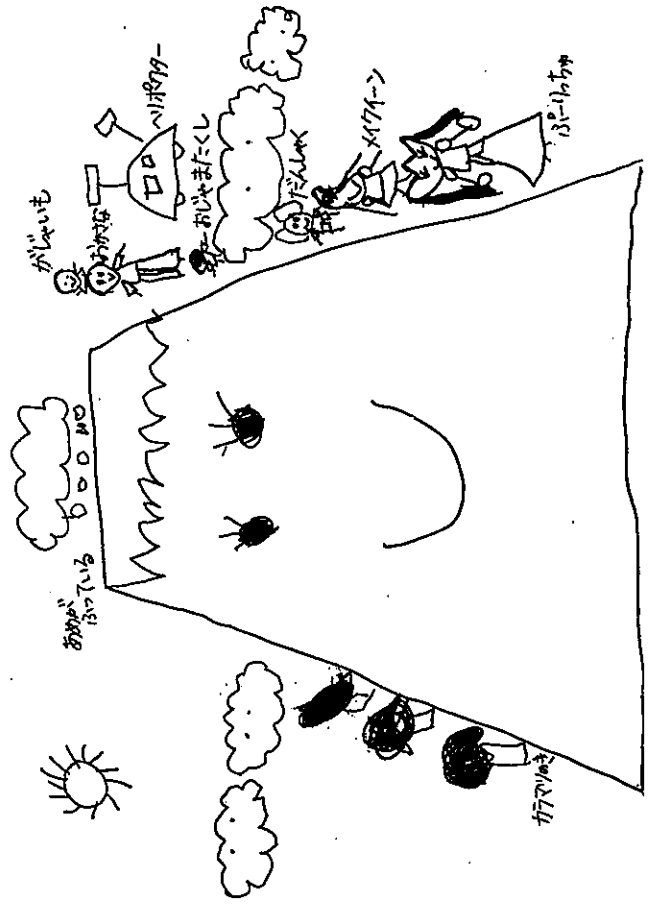


絵 『 がいしゃいもたちがいまじんにおぼっているところ 』 ひまわりぐみ

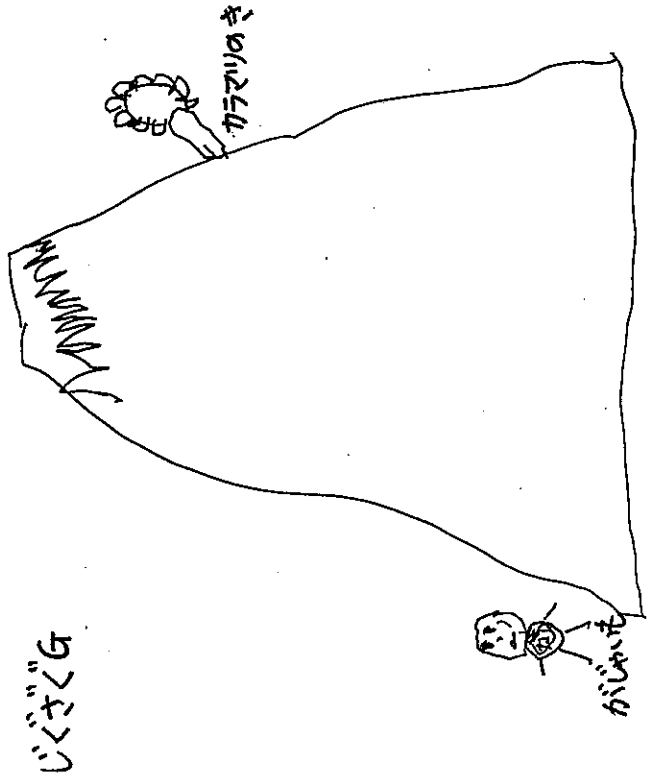
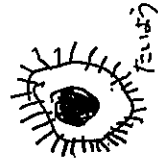
まぎのこ だより6月号



VANVAN G

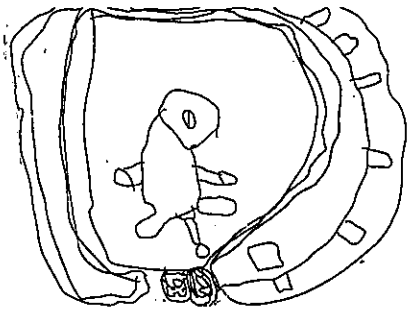


じくざぐ



じくざぐ

6月の聖句～わたしは、いつもあなたがたと共にいます
 (マタイによる福音書 28章 20節)
 讃美歌 ～ザアカイ(これもさんびか)



杉の子保育園園歌

「めぐみの子ども」

作詞 福尾 野歩
 作曲 才谷梅太郎

For Dm Org.

かわをわたるかせにみちばたにさくはな
 そらをわたるくもにかぜにそよぐくさ

にほほをぬらすあめにあいがあふれてい
 にふりそそぐひかりにあいがあふれてい

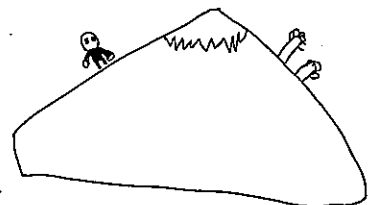
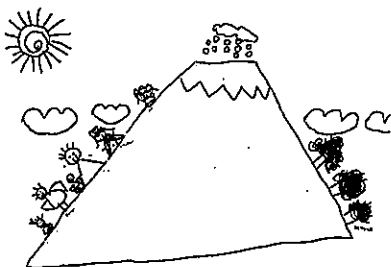
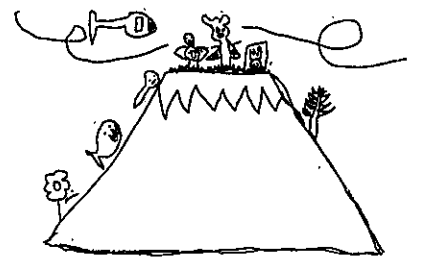
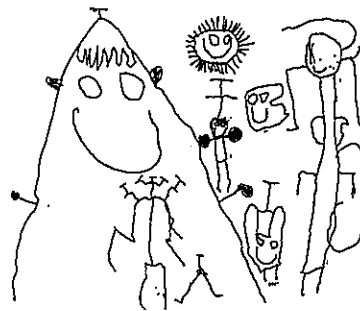
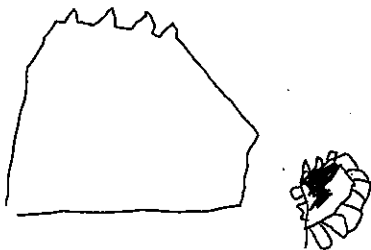
るゆめをそらにえがいてみんなであるこ
 るまちもうみもたいちもよびかけている

ういまをいきるめぐみのこども
 よあなたはきつとだいじょうぶだと

恵みの子ども

川を渡る 風は
 道ばたに咲く 花は
 ほほを濡らす 雨は
 愛が あふれている
 夢を 空に描いて
 みんなで 歩こう
 命を 生きている
 恵みの子ども

空を渡る 雲は
 風をそよぐ 草は
 降り注ぐ 光は
 愛が あふれている
 街も海も大地も
 呼びかけているよ
 あなたは きつと
 大丈夫だと



お世話になっていたおもちゃ屋さんが閉店ということで、5月最終土曜日にご挨拶に行ってきました。阪急岡本・JR 摂津本山近く、1973年からの老舗おもちゃ屋さんで、いわゆる木のおもちゃヨーロッパのおもちゃを扱っているお店です。ボクはお商売をしたことがないのでわかりようありませんが、小売店舗はネット販売や新型コロナ、為替レート、職人さんやお店の世代交代などなど大変ですね。あーあ、おもちゃ屋さんがまた一軒なくなっちゃったか…。あの辺りは線路沿いの絵本屋さんも画廊もなくなったし…。大した用事もなく、ぶらりとお店に行って、直に手に取り、感じて、お店の人と話を交わしておもちゃや本を選ぶ、そんな機会がなくなってきたように思います。

杉の子は意外や意外、こう見えておもちゃが多い保育園なのではないかと思っています。

ドイツのものが多く、頑丈で精巧、シンプルで美しい。マイスターの国らしく、作りがていねいで長持ちするのですね。ドイツだからというより、良いおもちゃを探していくとドイツになっちゃうという感じです。一昔前の日本だと、例えばボールや靴にキャラクターをつけたり、ピカピカ光ると売れるから作るみたいなことが割とありましたが、あちらはボールや靴という機能や品質を追求して作られていました。

紙製のパズルなどでも、ドイツのものはいわゆるアニメっぽいものではなく、生活や自然の風景が穏やかな色で描かれていて、一枚一枚のカットがきれいで工夫されていました。ずいぶん前、クラス担任をしていたころは「日本製のパズルがあったらいいのになあ。日本の原風景やお城、江戸時代を描いたパズルが欲しいなあ。まあ、売れるわけないかあ…」なんてちょっと悔しく思ったりしていましたね。今はドイツのおもちゃ職人もずいぶん減ってきました。

杉の子にあるおもちゃをざっと紹介しますと…

まずは、『積み木』自然な感じでカットしてある素朴なものと、レンガ型の積み木があります。例えば幼児クラスの使っているブナのレンガ型は一辺の長さが3.3cm基本になっていて、正確なので縦横重ねてもきれいに積めるのです。2,000個近くあるでしょうか。シンプルで奥が深いおもちゃです(しつこいようですが、本当は積んだら日本家屋風になる積み木があればいいのに…と昔は思っていました)。園では緑のジョイントマットの上で遊んでいます。

机の上で遊ぶ積み木として、スイスのネフ社のものは芸術的な美しさで、たまに山本先生が子どもたちの前で遊び見せをしてくれます。ビー玉を転がすクーゲルバーンというビー玉積み木や、将棋の藤井聡太六冠が幼少のころ遊んだことで有名なキューボロも奥が深いです。どれもシンプルですが、広がりや深まりある遊びが展開できます。

…と、この調子で書き出すと、いつまでたっても終わらなくなるのでやめておきましょう。『積み木』のほかには、『おままごと』『お人形』『モザイク』『パズル』『ゲーム』…とこれも書き出すと終わらなくなりそうです。

杉の子ではどうしてお部屋にいろいろなおもちゃがあるのかということですが、これは一言でいうと、単純に子どもにとって楽しいから、面白いからです。杉の子のおもちゃは、遊んだ結果として実はいろいろな力がつきます。手指の巧緻性やルール、協調性…など並び立てると、たくさんありますが、それはあくまでも結果です。それが目的の知育玩具ではなく、あくまでも夢中で遊んだらおまけがついてきたぐらいの位置づけです。といっても、子どもの今の様子を見ておもちゃを選びます。子どもは遊びの中で、今の自分よりちょっと上のことをします。遊びは学びです。

また、“没頭して遊ぶ”というのはいいなと思います。人は自分の居場所というものが、そのうえでなにかに没頭できたら、やっぱり幸せにつながります。

自分が“選んで遊ぶ”というのも大切です。大げさなことを言うようですが、国によったら選ぶ自由はありません。みんな一緒もいいですが、それぞれが自由に選択することこそ大切です。日本の幼児教育は大人中心指導の一斉保育という昔の学校型がそもそも多かったですね。しかしこの先、自分の頭で考え、平和を大切にすると人間に育つには、幼い時に自由や主体や選択がある暮らしや環境は必要ではないかと思っています。

また、おもちゃに没頭して遊ぶと“自分で自分を驚かせる”経験もします。試行錯誤したり、手を動かしていたら、子ども自身が思ってもいなかった新たな発見をしたり、「できた！」という体験をします。そんな時子どもは、ニコツとして周りの誰かを見たりします。その瞬間にその子と目と目が合ったときは、小さなことですが保育者として喜びです。おもちゃの良さを話しだすと、まったくもって止まらなくなりますね。

今村 優二

はれときどきハロマン



5月は天気のいい日が続き、暖かい日差しの中でたくさんあそぶことができました。保護者会や保育参加にたくさんご参加頂きありがとうございました。

幼児クラスの保育参加があり、一緒に子ども達とあそび普段の様子を知ってもらえたと思います。お父さんやお母さんには、保育の中に入って活動を共にしてもらいました。保育参加後にお話しをしたり、感想を書いて頂いたり保育士とも共有することができよかったです。

ままごとコーナーでは、女の子たちが大喜びでお父さんのまわりに集まっていました。お父さんにバンダナを巻き（よだれかけをつけてあげているつもりのようです！）エプロンをつけ、お父さん相手にごっこあそびを楽しんでいました。（もちろんこの場合は子ども達がお母さん役で、お父さんが子ども役です！）

ある女の子が『お人形をおんぶさせて』とお父さんをお願いした場面では、人形のおんぶひも初体験のお父さんが保育士と一緒につけてみました。一緒に緑地公園に行った時は、frisbeeを思いきり楽しんでいたお父さんに子ども達も大喜びだったと聞きました。

私たちの思いは、保護者の皆さんに実際に子どもとあそんで無心になるくらい楽しんでほしいというのもひとつあります。大人が全力であそぶとすごく疲れます。子どもはなんと回復の早いことか。大人になってから真剣にあそぶことはなかなかないですよ。子どもは毎日その瞬間を全力で生きています。子どもは未来のためでなく、今を真剣に生きているのです。そのような体験をしてもらい、おもしろさや楽しかったことを子どもたちと共有してもらえたらと思っています。また、自分のお子さんとの関わりだけでなく、他の子ども達との関わりがもてることもいい機会です。お父さんやお母さんには例えば絵本を読んでもらったり、着替えのお手伝いをしてもらったり、保育体験をしてもらえたらと思います。

保育参加のある日のことです。全クラスがテラスに集まる日がありました。その日はみんなでフォークダンスを踊り、参加したお父さんやお母さんに全力で踊ってもらいました！只今、杉の子で大流行のフォークダンス“タタロチカ”です！！大人の全力タタロチカ、すごく疲れるのですが、私はそれがいいと思っています。大人が全力でしているところを子ども達に見てもらおう。真剣に楽しむっていいですよ！

活動をとことん一緒に楽しんでもらいたいので、保育参加では動画や写真の撮影はなしにして一緒にあそびましょう！とお声掛けさせてもらっています。皆さんよろしく願います。6月は幼児クラスときりんぐる一ぶの保育参加があります。また今後もこのような機会を設けていきたいと思っていますので、ぜひぜひご参加ください。

さて今回は異年齢のぐる一ぶで過ごす様子を見て頂きました。異年齢保育の中で子ども同士の豊かな関係が育っています。その中では、年上の子が小さい子をリードして、小さい子はそれを見て年上の子に憧れる。また、手伝ってもらおう関係はものすごく豊かです。手伝う方も手伝ってもらおう方も、そのやりとりの中で自然に育ちあう。そのような姿も今回なんとなく感じてもらったのではないのでしょうか。

一日
まるごと

保育士体験!?



先月は各クラスの保育参加が7回行われました。
参加されたお母さん、お父さん お疲れ様でした。



保護者の方々が、保育の中に実際に入って、自分の子どもと他の友だちとの
かかわりを見たり、集団の中で過ごす様子を見てもらいました。

お母さん、お父さんが保育園に来てくれて 一緒にあそぶ ということは、
子どもたちにとっては、とっても嬉しいことなのです。また、自分のお母さん、お父さん
じゃなくても、とっても嬉しいのです。

子どもたちの中に入って全力で遊んでいるお母さん、お父さんに、

子どもと同じ目線でお話しをしたり、遊んだりして、"子どもって面白いな"

"こんな事を考えているんだ" "子どもってパワフルだな" "こんなことが嫌でケンカに
なるんだ" など 色々なことを感じてほしいと私たちは思っています。

そして子どもたちは、とにかく走りた〜い、体を動かした〜いので、お母さん、お父さんも
ぜひ一緒に体を動かして一汗かいてください♡

保育参加を通して、保護者の方々とコミュニケーションをとったり、保護者同士が
かかわれる場にも繋がっていただけるとなあと思っています。

また、活動の中で子どもたち同士のかわりや場面 場面での解説 (少し言い方が固いですが...)
もしていきたいと思っています。

この日はかりは、全かで子どもたちの中に入って遊んでみてください。



ひよこ・りすぐる-3.0

少しずつ暑くなってきましたが、ひよこ・りすぐる-3.0の子どもたちみんな元気いっぱいでお部屋や戸外で遊んでいます!!



新しいクラスにすっかり慣れた子どもたち。担任との信頼関係も深まり、安心して過ごしています。それぞれが、自分の思いや気持ちを出せるようになって、関係がしっかりとできていたことと嬉しく思っています。ひよこ・りすぐる-3.0では、毎日全員が絵本を見ている。絵本が始まると、自然と子どもたちが集まるようになって、それが定着し、毎日のルーティンになっています。くり返しのある絵本に、1本を揺らけたり、真似をしただけからその時間をみんなが楽しめるようになっていきました。また、園庭にも全員が行っています。月齢によって遊ぶ方や楽しみ方は違います。月齢の大きい子どもは、園庭を散歩したり、今は水、泥あそびを楽しんでいます。月齢の小さい子どもも、座って土の感触を楽しんだり、近くにあるおもちゃに手を伸ばしてにぎにぎしたり、とそれぞれの楽しみ方があるんです。6月もみんなが園庭やお散歩に行き過ぎてしまったと思っています!!



ごはんQ&A

“前までは食べていたのに急に食べなくなると” “急に舌が嫌がるようになって” など、1歳半頃から食べ物への好き嫌いが出てくるようになります。どうしてだろうと悩むこともあると思います。けれど、この“好き嫌い”は、『成長の証』なんです!! “この味は好きだけど、この味は嫌い” “この感触は好きだけど” など、口の機能が発達することによって分かるようになります。そして、自我が発達し、自己主張ができるようになるので、「イヤイヤ」が出てきます。保育園でも、そんな子どもたちの気持ちを大切にしながら“食べてあげようか”と思える言葉掛け、関わりをしています。

~新しいお友だち~
くま
いっしょ
遊ぼう
の
第
ご
す
くん
いっしょに遊ぼうね~😊



きりんごるーぽ



日中はとても暖かく、園庭で元気いっぱい遊びきりんごるーぽ!
 毎日新しい発見をして子どもたちは楽しんでます!
 5月から新しいおともだちも増え、より一層にぎやかな日々を
 過ごしています!

『みてみて～あったよ～!!』



あったよ～!!

園庭でみんな夢中に探すのほ。。。

ダンゴムシ

園庭の木の下やプランターの周りにみんな集まって
 ダンゴムシを探しています。その時の表情はみんな真剣!
 見つけると近くの大人に「あったよ～!!」とフライパンの中に入
 っているダンゴムシをき～とみせてくれます!
 また、手にダンゴムシを考かせて「こしよば～い」とケラケラ笑う子も
 います。中には「ダンゴムシこわ～い」と言うけれど、「だけど
 きになる～」とお友達が持っているフライパンの中にいる
 ダンゴムシをみる専門もいますよ～。

『へっちやり～』



園庭でじょうろを持ち、水をくんで砂山の上から
 じゃ～と流す子どもたちの流れた先に水がたまり泥水に
 になると大はしゃぎ!! 泥団子をつくったり、泥水の中に足を入れて
 みたりと手や足で土や泥の感触を楽しんでいます!
 泥あそび、水あそびをするときは、靴が汚れてしまうと
 自分で靴を脱ぎベンチの前に揃えて置きます!!
 ついつい泥あそび水あそびが楽しくて全身どろんこになって
 楽しんでいます!

梅雨に入りますが、天気良ければ園庭やおさんぽへ行き、新しい発見が
 できたらいいなと思っています! またお部屋でもカーペットなどで遊んで
 いきます!!

ふか見クラス

ちゅうりぶぐみ 3歳児

5月から、うがいを始めました。こすもす、ひまわりぐみが毎日うがいをしているのを見て、僕たち、私たちもうがいができるんだ!とドドドおしなからも、嬉しそうに子どもたちとしました。お父ちゃんお母ちゃんと一緒にうがいをし、コップの使い方もうがいの仕方を教えてもらったり、大人に見守ってもらいながら、毎日食後にうがいをしています。"うがいでる!" "みてよ〜"と誇らしげな様子です。初めは口の中で水をぐちぐちすること苦手だった子ども、少しずつぐちぐちができるようになってきました!

ところで、最近、和上あそびでゲームが人気です。ゲームのルールがわかってきて、ゲームをすることが楽しい子どもたちです。一緒にゲームをしていると、少し前までは大人がゲームを進めていたのですが、今では"次は○○くんだよね。" "こうだから、こうだよね。"と子どもたちがゲームを進めています。和上あそびのゲームだけでなく、簡単に集団あそび(だるまさんがころんだやスタンプゲームなど)もルールのあるあそびを、どんどん楽しんでいていて、思っています!

こすもすぐみ 4歳児

こすもすぐみ、お手伝いを始めました!! 午睡で使用するコット(バッド)をひまわりぐみと一緒に運び、決まった場所に並べて置きます。食後の自由遊びを少し早めに切り上げてコットを敷きに行くので、まだ遊びたいのに〜という葛藤もあります。それでも、今までできなかったことができるようにした喜びと誇らしさもあり、自分のタイムアップが遊びを切り上げてお手伝いに来てくれたり、「そろそろコット敷く?」と早々に大人に尋ねる(まだやる気にあふれている子もいます)!

コット以外でも、大人が机を運んでいると、どっからともなく現れて、スツと椅子を運んでくれたり、製作シートを畳もうと手を伸ばすと「○○ちゃんが畳むわ」と、手伝ってくれたりなど、自分のことばかりでなく、周りのことにも目を向け、自分で考えて行動する姿に呆気にとられます。頼もしいばかりです! これからも、気持ちを守りながら、お手伝い、元氣張っていきたく思っています。

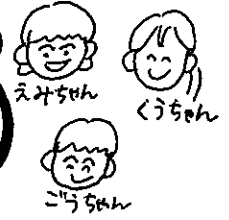
ひまわりぐみ 5歳児

5/16(水)に塩屋から須磨浦山上遊園地へお出かけに行きました。ひまわりぐみは初めての山登り。体的にどうかな...途中景色を眺めながら出てくるお宝...とバツバツしていました。全くそんなこと(お宝)もなく、むしろ大人を置いて、がらがら突進の姿に達して怒り程でした。後から隠れて聞いてみると、「しゅんたけと楽しかった。また行きたい!」との声(お宝)でした。楽しい、面白い、気持ち強いと、子供のパワー(爆発する)のよう。今後のお出かけを楽しみます。


5/26(金)~27(土)はお泊り保育もありました。今年のテーマは「お宝探し」で、偏食が多い子ども、楽しく食事に興味をもてるのがいいなという思いで始めました。ちゅうりぶぐみも新緑がその時期で、お宝探しもホクホクした甘みを感じてもらったのも、晩ごはんのカレー(カレーは新しいお宝)も皮を丸く入れました。本当に美味しかったです。汗ばつワツワツのお泊りでした。友だちと共に思いやりをくれたこと、思っています。





幼児クラス座談会



くら 5月の末は、我々がひまわりぐみのお泊り保育がありましたね!


ちゅうりっぷ&こぞもぐみの子どもたちを巻き込んで、一緒に紙芝居を見たり歌ったりして、みんな盛り上がりましたね~ 

和 ひまわりぐみの子どもたちはもちろんだけど、それを上回る勢いで **がじらいも** に夢中になっていたよね  (和)

こぞもぐみのTくんは、寝起きで着替えながら、山本先生作の **がじらいものうた** を口ずさんで踊っていました  (えみ)

こう 自由遊びの時間に、どこからともなく誰かが歌ってる声が聞こえてきましたね! (こう)

ひまわりぐみが、朝の集い(全国児)の時にみんなの前で歌って踊りさせてくれた時の、子どもたちの目の輝きもスゴかったな~ 早く自分もしたい! がひひひと伝わってきた!

えみ お泊り保育の当日は、ちゅうりっぷ&こぞもぐみの子どもたちは、気が気じゃなかったんです... ずいぶんスターチッシュをかまして、**だんいっく**  を探したり、単発のためのトレーニングをしたりと真剣に遊んでいましたよ。 (こう)

*
"りっく"がじらいもの
お話を
紹介しています!

えみ 幼児のみんなで **がじらいも** の世界に入り込んで、ひまわりぐみのお泊り保育を楽しめてよかったよね!

こう こういうところから、ひまわりぐみ(年長児)への憧れが芽生えるんだらうな~

和 お泊り保育は終わりましたが、子どもたちの **がじらいも** 熱は増す一方なので、まだまだ **がじらいも**、楽しんでいきましょう~!! (こう)

5月26日(金) ひまわりぐみ

お泊り保育当日の出来事



< 5月25日(木) >

お泊り保育当日の晩ご飯は、カレーライス!

ひまわりぐみのみんなで、みなとびま 駅にある グルメラティまで、カレーの材料の
買い出しに出掛けました!!

じゃがいも、たまねぎ、
にんじん、カレーのルー

< 5月26日(金) お泊り保育当日 >

昨日買った、カレーの材料が、“だんしゃく”に盗まれてしまった!!

だんしゃくから手紙も届いており、「返してほしければ、中公園に向かえ。

おれ様の子分の“しゃんしゃく”が、“クイズ”を準備してまっている」と、書かれていた。

ひまわりぐみは、手紙のとおり、中公園へ向かい、“しゃんしゃく”と クイズ対決!!

クイズと、中公園での追加の指令にクリアした子どもたちは、無事に
カレーの材料を取り戻した! ✨

え!? でも材料はどこ!? 本当に返してくれた!?



あわてる子どもたち...

そこで... えみちゃんが、保育園にいる 先生にテレビ電話をして確認!

とある部屋に、材料を発見! これでほんとに安心した
子どもたちでした(☺) よかったねー!!

『がじゃいものうた』

作詞)
作曲)

がじゃがじゃ いもいも がじゃいも がじゃがじゃ いもいも がじゃいも

むらのはすれの ごさくどんの はたけて はたけて

つちのふとんどねむるあいつは がじゃいも がじゃいも

ニョキニョキめが のびてきて リッぱなはっほを ひろげたら

つちのなかには リッぱながじゃいも がじゃがじゃがじゃ ㄱ-!!

がじゃがじゃいもいも がじゃいも がじゃがじゃいもいも がじゃいも D.S.

がじゃ がじゃ いもいも がじゃいも がじゃがじゃいもいも がじゃいも
 がじゃ がじゃ いもいも がじゃいも がじゃがじゃいもいも がじゃいも
 むらのはすれの ごさくどんの はたけて はたけて
 つちのふとんどねむるあいつは がじゃいも! がじゃいも!
 ニョキニョキめが のびてきて リッぱなはっほを ひろげたら
 つちのなかには リッぱな がじゃいも がじゃがじゃがじゃ ㄱ-!!
 がじゃ がじゃ いもいも がじゃいも がじゃがじゃいもいも がじゃいも
 がじゃ がじゃ いもいも がじゃいも がじゃがじゃいもいも がじゃいも

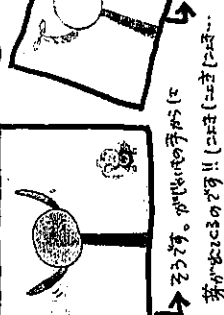
がしあひる 紙芝居 (絵: ぶちん)



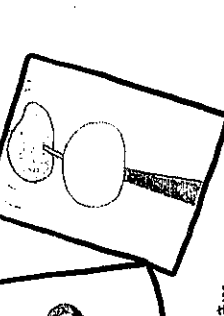
① これは、あの有名な「がしあひる」のテレビ番組です。今では、みんなが知っている番組です。



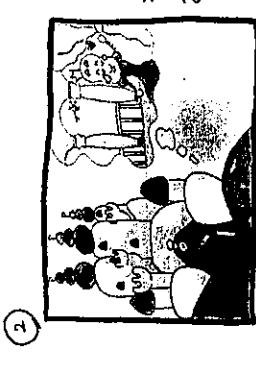
② 昔、あるところに、クイーンという名の王子とプリンセスという名のプリンセスがいました。



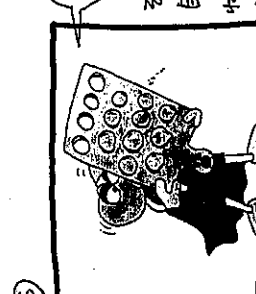
③ ある日、宮殿の前の庭で、王子とプリンセスが遊んでいたところ、



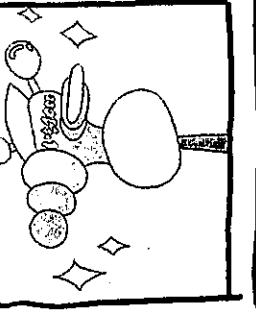
④ 突然、大きな魔法の杖が落ちてきた。王子とプリンセスは、魔法の杖の力で、



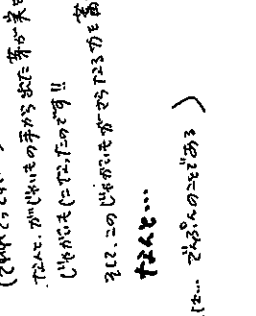
⑤ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



⑥ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



⑦ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



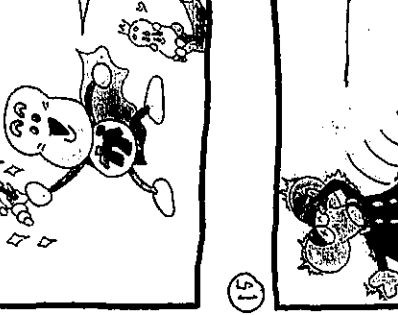
⑧ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



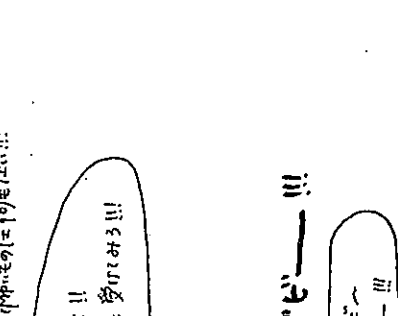
⑨ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



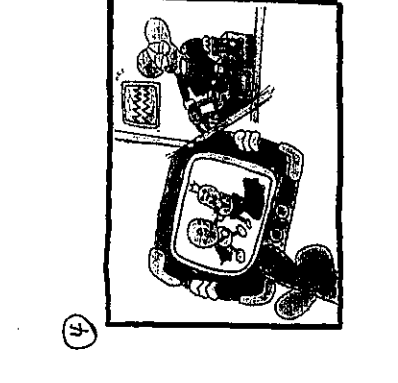
⑩ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



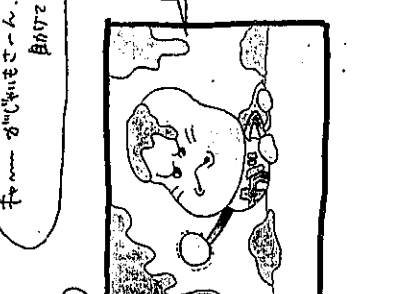
⑪ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



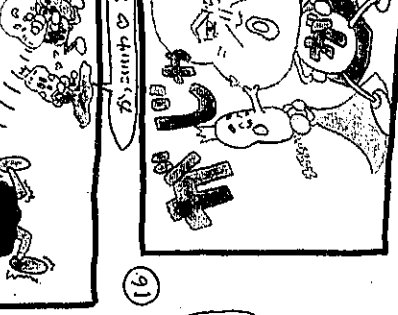
⑫ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



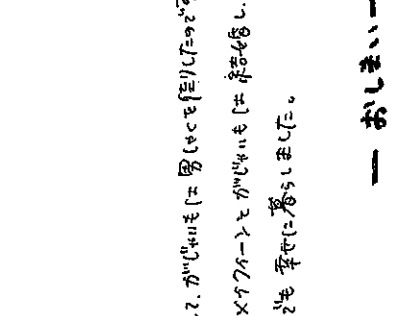
⑬ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



⑭ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



⑮ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



⑯ 「おはようございます。今日は、お天気がいいですね。」



ひまわりが中心園を4回おびきりに行きました。2/26(金)のお泊り保育の日も行ったよ。みんなの足跡が400歩の道のり。最初はポパイ在位の大木を一緒に歩く。色んな葉っぱを採りました。中心園に巡り着くと色んな発見がありましたよ!!

中心園の階段をグイッ
神戸市長を20年務めた
原口忠次郎先生がいます



(二二二歩は同じくらい歩くと同じくらい疲れるよ)
ささやきさん

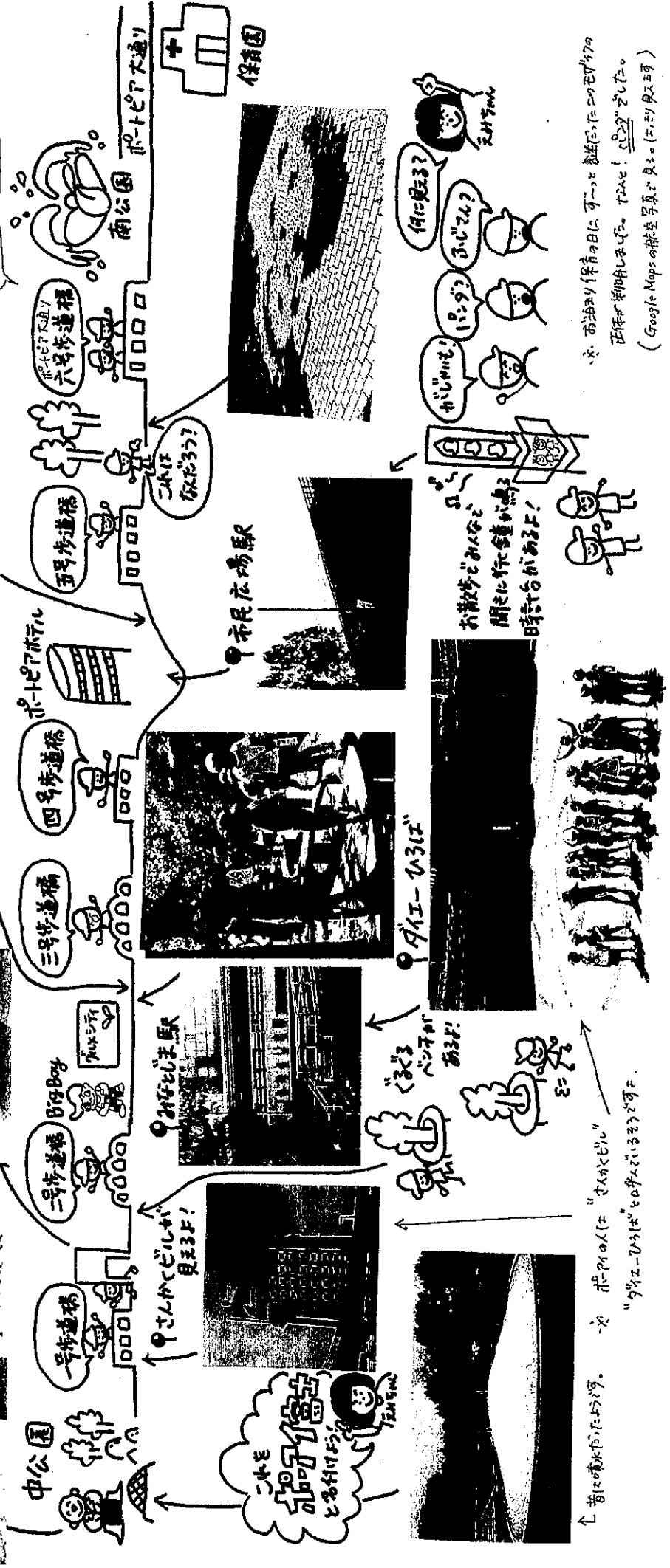


(木の上に居ると気持ちいいよ!!)
まじりやうのたまご



保育園の中心園の道のり
みんなの足跡が400歩の道のり

歩道橋の白い
あはれおぼえていますか?



お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

何に遊ぼう?
どこで遊ぶ?
お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

何に遊ぼう?
どこで遊ぶ?
お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

何に遊ぼう?
どこで遊ぶ?
お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

何に遊ぼう?
どこで遊ぶ?
お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!



お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

何に遊ぼう?
どこで遊ぶ?
お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

何に遊ぼう?
どこで遊ぶ?
お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

何に遊ぼう?
どこで遊ぶ?
お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!

何に遊ぼう?
どこで遊ぶ?
お散歩のみんな
開いた瞬間が楽し
時間台があるよ!



キューピーキッチン ☆ ☆

蒸し暑い日が増えました。この時期は食欲もダウンしやすくなります。こまめに水分補給をし、バランスのよい食事でご体力を維持しましょう。

春から夏へと変わりゆく6月は、ミネラルやビタミンが豊富な夏野菜、DHAやEPAなどの栄養が豊富な魚が旬を迎える時期です。

～ 6月の旬の野菜と魚を紹介しましよ。～

オクラ ... オクラは、粘り気と表面の産毛が特徴の緑黄色野菜です。

オクラは他の野菜に比べ傷みやすく、冷気や湿気が苦手なので、購入後は新鮮なうちに食べましょう。消費期限は冷蔵保存では3～4日、冷凍保存では約1ヶ月が目安です。

キュウリ ... キュウリは全体の約95%が水分で、低カロリー・低糖質の野菜です。ビタミンやミネラルの補給が大切な夏におすすめです。

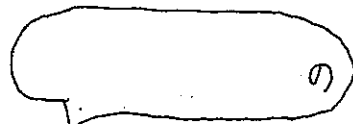
イワシ ... 5月から6月にかけて、主に関東地方で獲れたマイワシが多く流通します。イワシは体にある黒い斑点と手でも捌けるほど身がやわらかいのが特徴です。またイワシの脂は梅の酸味と好相性といわれています。

イサキ ... イサキは、スズキ目イサキ科に属し、釣りで人気の回遊魚です。イサキの旬は6月から9月頃の産卵期です。イサキは自身魚ですが、アジなどの青魚に豊富なDHAやEPAが多いのが特徴です。

～ 6月の献立について～

6月の献立は、たっぷりとした味付けの「キュウリの梅和え」や、オクラやなめこが入った「ねぼねぼ味噌汁」などに旬の野菜を取り入れています。旬の野菜は栄養価が高く、約3倍違うといわれています。本格的な夏に備えて、6月は旬の食材で季節を感じながら体の調子も整えていけたらいいですね。

くまぐれ 投稿



の ぼちぼちいこが通信

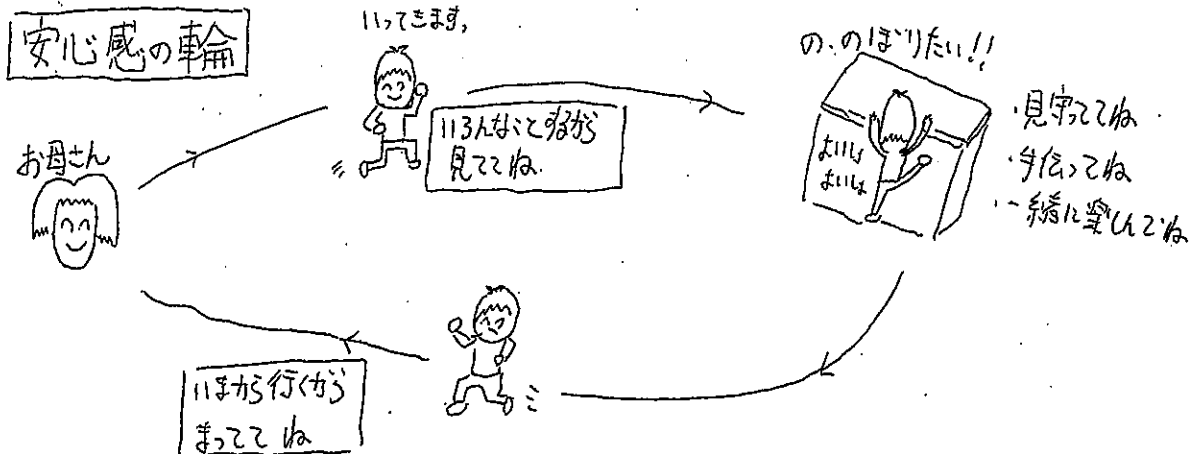


先日、くまぐれ一歩の交流会がありました。とても和やかな雰囲気、子どもも大人も笑顔と笑い声があふれ、とてもいい時間を過ごすことができましたと思っています。この和やかな雰囲気はどこから来るのか？と考えた時、頭に浮かんだのが『安心感の輪』です。

・『安心感の輪とは？』

保育の世界ではアタッチメントという言葉があり、とても大切だといわれています。アタッチメントとは子どもが特定の人（お父さん、お母さん、保育士など）に「くっつく」ことを通して不安などの感情を受け止めてもらい、自分の感情を調節することをアタッチメントと言います。アタッチメントが適切に行われていると、子どもは安心して探索や冒険に出かけることができます。しかし、どこまでも遠くへ行くわけではありません。子どもたちは一定の範囲の中で探検や冒険をしています。その範囲を表したものが『安心感の輪』です。

交流会が始まった時、子どもたちはおとなしくお父さんお母さんの膝の上に座っていました。子どもたちは「なんだ？」「いつもと違うぞ」「何が始まるのだ？」と少し不安に思っていたかもしれません。しかし、ずっとお父さんお母さんの膝の上に座っているわけではありません。次第に膝の上から離れ探索に出かけていきます。



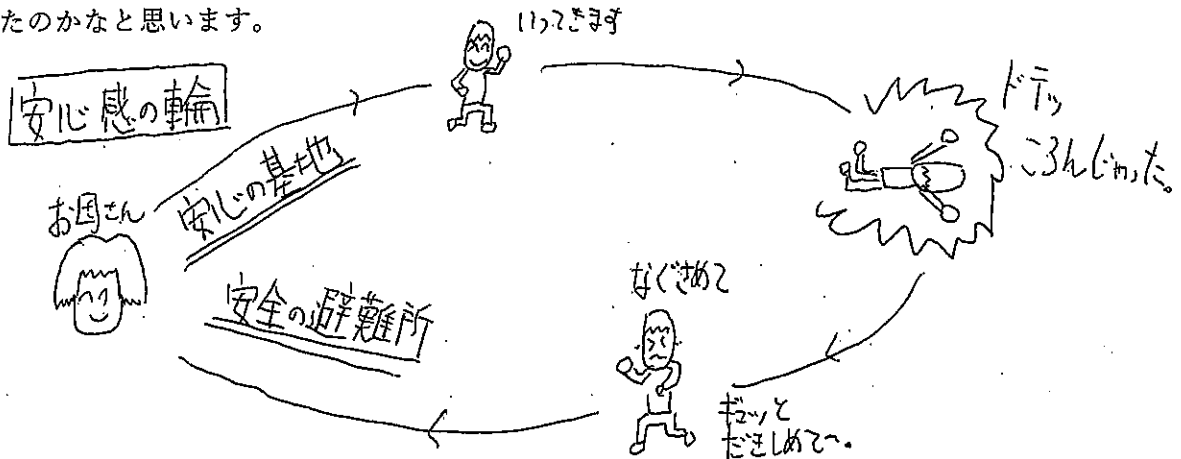
・安心感の輪には「基地」と「避難所」がある。

子どもたちの冒険の出発点は「安全の基地」です。具体的にはお父さん、お母さん、保育士などがそれにあたります。自分に自信を持たせてくれる存在が基地になります。順調に目的を達成すると、子どもたちはまた、その基地に戻ってきます。

交流会の時もお父さんお母さんの膝から離れ、しばらくブロックで遊んだ後、お気に入りのブロックを手にお父さんお母さんの膝の上に座りに戻る姿が見られました。また、時に冒険の途中に怖い思いをすることもあります。例えば、転んでしまったとか、友達と玩具の取り合いになってしまったなどです。そんな時に駆け込むのが「安全の避難所」（お父さん、お母さん、保育士など）です。そこは、自分の気持ちを受け止めてもらえる場所です。実は、子どもが「基地」から安心して冒険に出られるのは、いつでも受け入れてくれる「避難所」

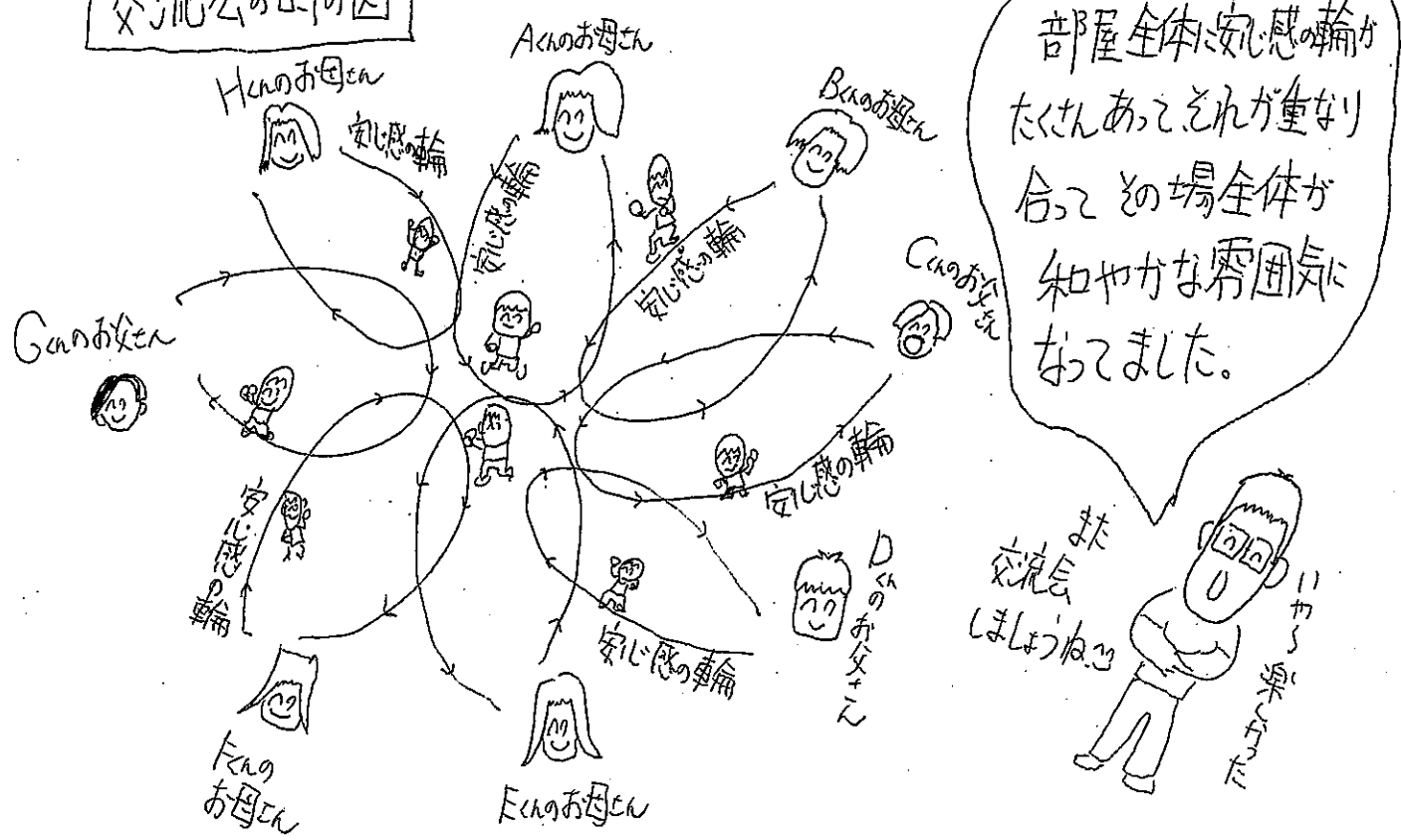
があるからです。「安心の基地」と「安全の避難所」がなければ子どもは怖くてどこへも行けません。戻ってくる場所があるから、子どもは冒険に出ることができるのです。

交流会の時、子ども一人ひとりがお父さんお母さんの安全の基地から冒険に出て自由に活動する。その一人ひとりの安心感の輪が幾重にも重なりあうことによって、その場の雰囲気气和やかになり、子どもたちも、お父さん、お母さんたちも笑顔や笑い声でいっぱいになったのかなと思います。



偶然に同じ保育園に入園し、同じぐら一ふになり出会った子どもたち、そしてお父さんお母さん。この出会いは決して偶然だけではなく子どもが見つないでくれた何かの『縁』です。そう思って気軽に子育てについて話し合える関係性を紡いでいってほしいと思いました。そして僕たちもそんなお手伝いができたらと思っています。

交流会の時の図



〔とにかく何でもやってみよう!!〕

「みてみて！できるようになった!!」「こっちもみて!」「こっちきて!」とたくさん子どもたちから手や服を引っ張られてお誘いを受ける場面が増えてきました。園庭を横に見ながら職員室に向かう園はいくつかあるのですが、たどり着くまでに結構時間がかかります。でも子どもたちの嬉しそうな元気な声でムチツとした可愛い手で掴まれているその時、私は至福のひとつときを味わっているのです。

「せんせい！みてや!」と叫びながら鉄棒の前回りを回っている子、逆上がりを(もうええよ)と思うくらい何度もグルグル回っている子、縄跳びを一回ごと丁寧に跳んでいる子、うんていを得意げに一段とばしで進む子… どの子どもたちも楽しそうで、意欲に満ちあふれています。

一方、ニコニコしながら「もりもりせんせいもできる?」とお腹でフラフープを回している子、ポケットからひもを取り出し、“ひとりあやとり”を見せてくれる子、「めっちゃあし、はやいで!」と突然駆け出す子、「これたべて!」と砂場から運んできたプリンを差し出してくれる子… なんて面白くて可愛いのでしょう!それぞれ子どもたちは今、この時に夢中で、全力で楽しんでいることがよくわかります。目は生き生きと輝き、色んな事に興味津々で、なんでも自分で試してみたいくなる幼児期は、毎日たくさん体験を積み重ねてほしい時期と言えます。



新年度が始まって2ヵ月が過ぎようとしています。周りの大人たちの変化を敏感に感じている子どもたちの表情は、少し前よりも明るくなったように感じるのは私だけではないと思います。マスクを外す場面が増えつつある中、じっくりと顔を合わせてお互いの表情で会話しているという実感を今、味わっています。『この3年間の影響が…』と振り返ったところで、何も始まらないので、『この3年間があったから…』と溜まりに溜まった色んなものをこれからは身体をフルに使って体験・体感していくことが何より必要だと思っています。

少し自信のない子、「ムリ!」「できない!」とあきらめ言葉が出てしまう子、すぐに拗ねてしまう子、大人と一緒にないと動けない子、ちょっと動いたら疲れてしまう子… いいじゃないですか。色々あるからこれからの成長が楽しみになります。大人だって同じです。みんな色々なものを持って、今を生きています。

さあ、今こそ楽しいことに身体を使いましょう!興味のあることはどんどんチャレンジしていきましょう!顔を上げてよ〜く周りを見れば、おもしろそうなこと、やってみたいこと、知りたいことがめっちゃたくさんありますよ。毎日が「みてみて!」と子どもたちのパワフルな声で溢れますように…

『とにかく何でもやってみよう!』

2023年度:令和5年6月号 田村 成(運動あそび)

みぎちゃん(イラスト)

阪神タイガース応援部

部長:

皆さんありがとうございます! 阪神タイガース 絶好調です!! だいたい首位に立ち
A.R.E. に向かって一直線です!! 5月25日現在で 貯金 14 !!

私が思うにこの大きな要因は 岡田監督にあると思います。

① 考えわたる“勝負勘”

岡田監督の眼力。練習などを見ていて「打てりだから使った」と言い、試合に出た選手が打つ。相手ピッチャーとの相性を見極めて、選手を起用。これはどの監督もできると思われるが、ひらめき、勝負勘がさえています!

② 二手、三手、四手、先の先までよみ続ける。

岡田監督は、先の先までよみまわります。それは、自分のチームの選手のことだけでなく、相手チームのことです。この展開で、残りのベンチメンバーなら、次はこの選手をだすだろう、9回には2点を出してくるだろうということまで考えて、自分のチームの選手の代打や代走を考えています。もし逆転されたら、同点になったら、どう転んでもいいように、頭の中で準備をしているようです。岡田監督は特にその“よみ”がすごいです。

③ Xケアを上手く使って伝える巧みさ

選手のモチベーション管理も上手。控え選手もモチベーションを保てるようにXケアを通して岡田監督の言葉が耳に入り、信頼にできていると思えるようにする。^例代走という役割を明確に与えて、スタメン出場できないフラストレーションの緩和をさせている。

私は、このパターンなら次は0点が出てくるだろう、どのタイミングで交代させるだろうかと等々考えながら見るのが好きなので、岡田監督の“よみ”の話がすごくおもしろくて大好きです。自分と同じタイミングだった時は「よし!」と思ったりします。ここで、私のイチオシ選手のご紹介です。

ミエちゃんこと ミエセス選手

ミエちゃんのとりになったのは、オープン戦で、はじめて選手が打席に入る前の紹介動画を見た時。決めポーズのポージングが最高!! ギャルポーズ!(ピース) おちめめで一瞬で大好きになりました♡ 実際はとてモシャイなようですが、ミエちゃんが打って、ギャルポーズをベンチにむかしてアピールするとモリ上がるモリ上がる!! 皆さん、阪神のミエちゃんをよろしくです!!